

(一社)日本埋立浚渫協会主催

H29年度の港湾技術報告会を開催いたしました

1. 概要

平成 29 年 7 月 19 日、ルポール麴町にて当協会主催の「港湾技術報告会」を開催いたしました。

この報告会は、港湾技術及び関連する分野の動向等を有識者よりご講演いただくとともに、当協会の自主的な研究活動の成果等紹介を行い、会員相互技術の向上を目指すことを目的としているものです。

今年度は、「国土・人・技術をつくる」を統一テーマとして、協会の技術委員会を中心に準備を進めて参りました。

第 1 部では、古土井光昭様より「国土をつくる」をテーマとして、関西国際空港等大規模埋立事業についてご講演いただきました。

第 2 部では、山田菊子様より「人をつくる」として女性技術者の建設業界での、これまでと今後に向けての展望をご講演頂きました。

また、ICT 関連技術を中心として、協会が開発した施工技術について「技術をつくると」として、第 3 部で発表させて頂きました。

今後も、当協会では、最新の港湾の技術や担い手確保などの知見に関する普及や当協会の技術成果の発信を目指して行きたいと考えております。

また、交流会では出席した女性技術者同士の意見交換も図られ有意義な会となりました。

2. 説明会の様子

〔第 1 部〕「国土をつくる」

ポートエンジニアリングネットワーク事務所代表

元関西国際空港用地造成株式会社代表取締役専務 博士(工学) 古土井 光昭 様

「早く、安く、より良く～大規模埋立地の造成」



古土井様からは我が国の埋立の歴史及び関西国際空港の 2 期用地造成事業を事例とする埋立工事の課題と対応についてご講演頂きました。また埋立地造成の施工上の新技術の活用や環境問題への対応についても触れられ、今後の大規模プロジェクトの遂行に役立つご講演を頂きました。

〔第2部〕「人をつくる」

(一社)土木技術者女性の会 運営委員

東京工業大学 環境・社会理工学院 研究員 博士(工学) 山田菊子 様

「女性技術者育成のこれまで、これから」



山田様からは建設業界における女性技術者の現状や我が国での育成の歴史や問題点をご紹介頂きました。また土木技術者女性の会の役割や、今後に向けての力強いメッセージを頂き、女性技術活用を考える上で、大変有意義な講義でした。

また、土木技術者女性の会の活動も広くご紹介頂きました。

〔第3部〕「技術をつくる」～ICT 関連技術事例紹介

「マルチビーム、UMV、UAV を用いた浚渫工事の施工管理」

みらい建設工業(株) 技術本部総合評価部部长 泉 誠司郎氏

「水中ソナー利用技術」

若築建設 建設事業部門 技術部 技術研究所 波浪・水理・施工・制御グループリーダー 土屋 洋氏

「栈橋施工を対象とした CIM の導入」

五洋建設(株) 土木技術開発部 ICT チーム 琴浦 毅氏

「ケーソン据付無人化技術」

東洋建設(株) 土木事業本部 土木技術部 技術開発課 加藤 直幸氏



〔会場の様子〕

